

## (2) 集団解決の計画の視点

- ①何を使うか (ホワイトボード, 画用紙, 黒板, 実物投影機)
- ②どう示すか (一斉, 順番)
- ③何を説明させるか
- ④どうやって多くの児童に表現の機会を与えるか
- ⑤考えをどんな発問で関連付けさせるか
- ⑥どうつまずきを生かすか
- ⑦どうまとめにつなげるか
- ⑧どこでペア学習を取り入れるか

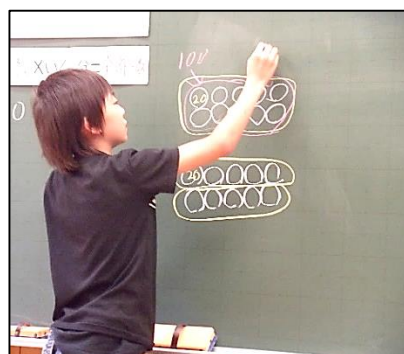
### 【視点の具体】

#### ①何を使うか

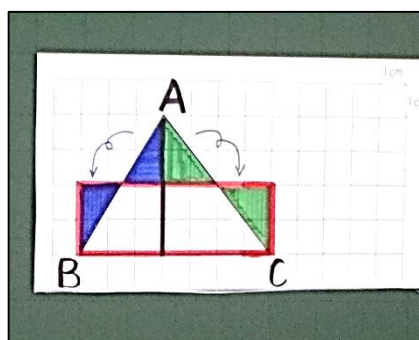
使う物	メリット	デメリット
ホワイトボード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消しながら書ける (安心感)</li> <li>・動かせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き終わるまで他の児童を待たせることになる</li> </ul>
画用紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残しておける</li> <li>・様々な色を使える</li> <li>・動かせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き終わるまで他の児童を待たせることになる</li> <li>・間違えても消せない</li> </ul>
黒板	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く過程が見られる</li> <li>・後からチョークで書き加えられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動かせない (計画性が必要)</li> <li>・書く内容が多いと時間がかかる</li> </ul>
教師が用意した図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く時間を短縮できる</li> <li>・整理され, 見やすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童独自の方法を表現しにくい</li> </ul>
実物投影機	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートをそのまま見せられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板上に残せない</li> </ul>



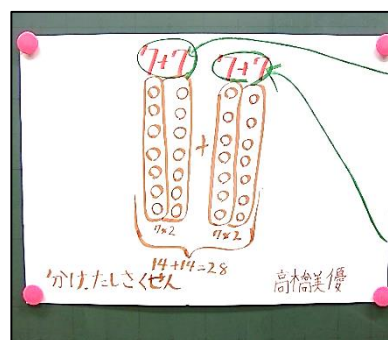
ホワイトボードに書かせる



黒板に書かせる



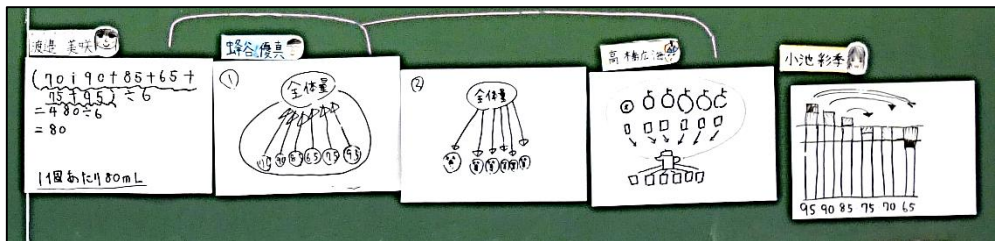
教師が用意した図に書かせる



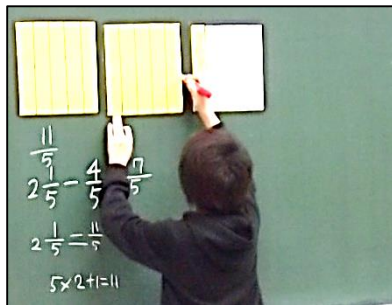
画用紙に書かせる

② どう示すか

示し方	メリット	デメリット
一斉に示す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達がどう考えたのか、読み取る時間を確保できる</li> <li>・複数の考えの中から自分が読み取れそうなものを見付けられる</li> <li>・すぐに比較検討の活動を行える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の考えに目が行き、話合いが焦点化しにくくなる</li> </ul>
順番に示す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見る側を、一つの説明に集中させられる</li> <li>・段階的に、読み取り方、説明の仕方に慣れさせていける</li> <li>・つまずきを生かしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じような説明の繰り返しになると、学習が単調になる</li> </ul>



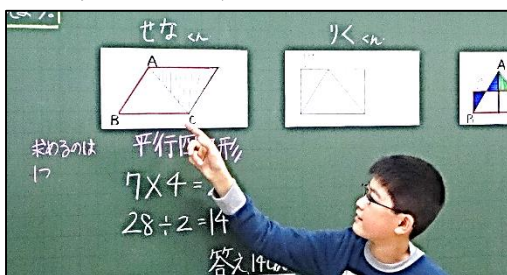
一斉に示す



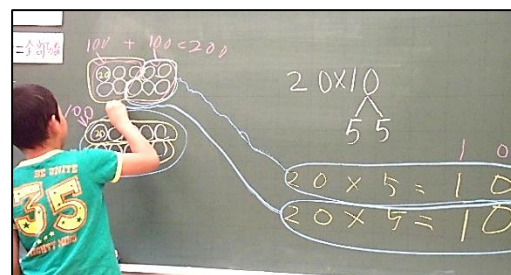
順番に示す

③ 何を説明させるか

- ・自分の考えの説明
- ・友達の考えを読み取っての説明
- ・それぞれの考えの共通点、相違点、よさ、工夫など
- ・よりよい方法はどれか
- ・つまずきの修正の仕方
- ・どうしてつまずいたのか



友達の考えを読み取っての説明



図と式の共通点についての説明

④ どうやって多くの児童に表現の機会を与えるか

- ・発表者と説明者は別にする
- ・理解できたか確認しながら、他の児童にも同じ説明をさせる
- ・途中まで説明させて、続きを他の児童に説明させる
- ・不完全な図や式を取り上げて、続きを他の児童に考えさせ、説明させる
- ・ペアで説明し合う、相談する

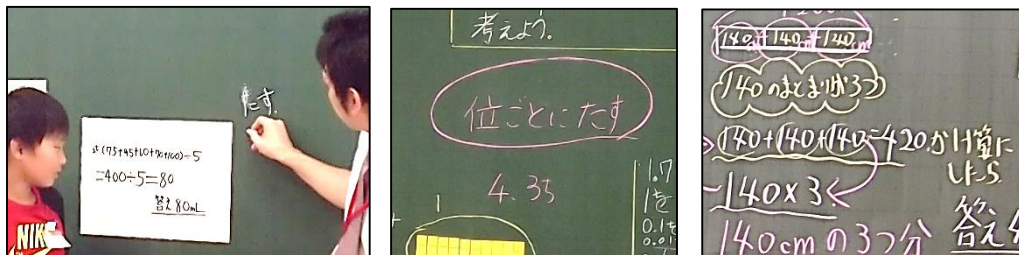
⑤ 考えをどんな発問で関連付けさせるか

- ・この式は、図でいうとどこ？
- ・この言葉は、式でいうとどこ？
- ・この式を、図を使って説明してごらん
- ・この式を、言葉を使って説明してごらん
- ・図に言葉を付け足してごらん

⑥ どうつまずきを生かすか（「(3) つまずきの生かし方の視点」参照）

⑦ どうまとめにつなげるか

- ・ねらいに迫る考えを引き出す（発問）
- ・説明し合う中で出てきたキーワードを板書しておく

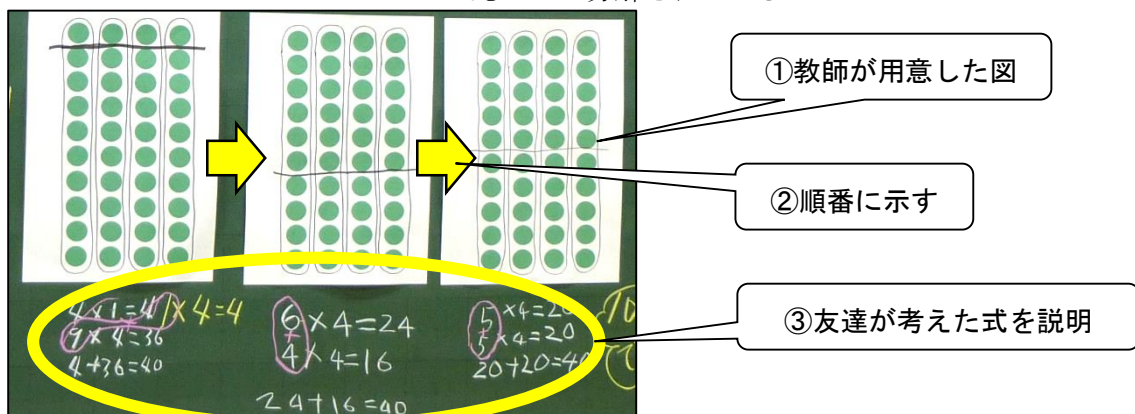


吹き出しなどを用いて、キーワードを板書しておく。

⑧ どこでペア学習を取り入れるか（視点2手立て1「ペア学習の活用」参照）

【3年「九九を見なおそう」の実践例】

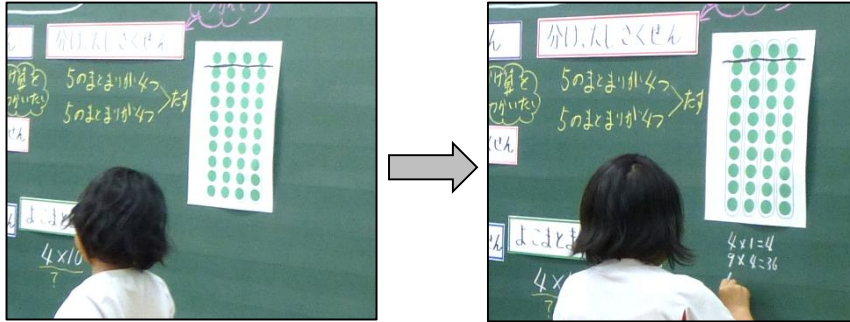
- ①何をを使うか・・・教師が用意した図
- ②どう示すか・・・順番に示す
- ③何を説明させるか・・・友達がどういう式にして答えを求めたか  
・・・どの式も10が分解されていること





④ どうやって多くの児童に表現の機会を与えるか

- ・・・発表者と説明者は別にする
- ・・・理解できたか確認しながら，他の児童にも同じ説明をさせる



④初めの児童にどのように分けて考えたかを発表させ，次の児童に友達がどのような式で答えを求めたかを説明させた。

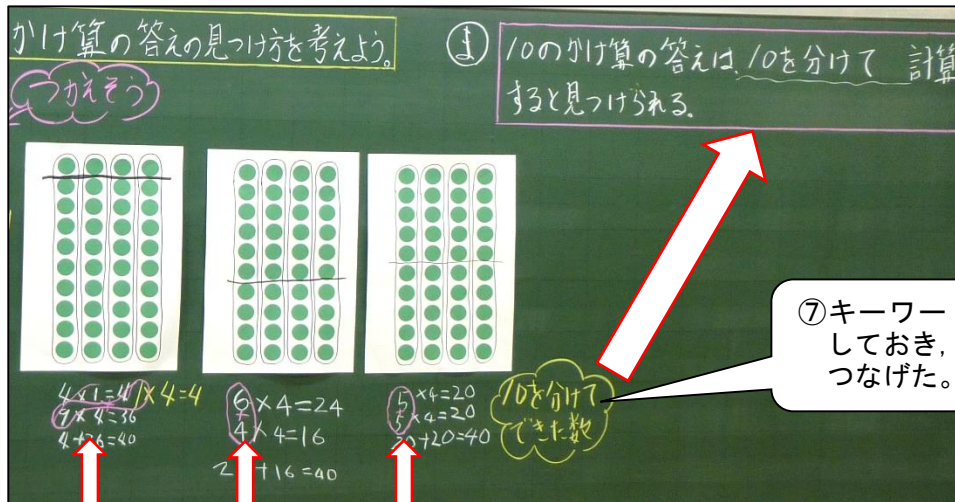
⑤考えをどんな発問で関連付けさせるか

- ・・・「10はどこに隠れているか」という発問をし，式の共通点に気付かせる

⑥ どうつまずきを生かすか・・・立式に関するつまずきを取り上げ，全体で確認する

⑦ どうまとめにつなげるか

- ・・・どの式も，かけられる数は10を分解してできた数であることに気付かせ，「10を分けてできた数」というキーワードを板書しておく



⑦キーワードを板書しておき，まとめにつなげた。

⑤発問によって，どの式にも10を分解してできた数が隠れていることに気付かせた。